

可児市消防団消防車庫 個別施設計画

令和2年12月

可児市総務部防災安全課

目次

1	目的と位置づけ	1
(1)	目的	1
(2)	位置づけ	1
2	計画期間	1
3	対象施設	1
4	施設の現状と課題	2
(1)	現状	2
(2)	課題	4
5	今後の方向性	4
6	施設の劣化状況	4
7	施設の日常点検	5
8	対策の優先順位の考え方	5
9	対策内容と実施時期	6

1 目的と位置づけ

(1) 目的

本計画は、可児市公共施設等マネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）および可児市公共施設等マネジメント基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断により得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定め、長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に取り組むために定めます。

(2) 位置づけ

本計画は国のインフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく個別施設計画として位置づけます。

また、可児市公共施設等総合管理計画（基本方針及び基本計画）の下位計画に位置づけます。

2 計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。計画の達成状況を踏まえて、本計画は 5 年を目安に見直しを行うものとします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢による状況の変化、事業の進捗状況等に応じ計画の見直しを行うこととします。

3 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

番号	施設名	所在地	敷地面積	延床面積
1	第 1 分団第 1 部消防車庫	広見 670 番地 1	510.74 m ²	90.00 m ²
2	第 1 分団第 2 部消防車庫	瀬田 1736 番地	167.54 m ²	90.12 m ²
3	第 1 分団第 3 部消防車庫	中恵土 1896 番地 1	652.14 m ²	90.00 m ²
4	第 1 分団第 4 部消防車庫	下切 1430 番地 1	323.30 m ²	54.46 m ²
5	第 2 分団第 1 部消防車庫	今渡 2703 番地	440.94 m ²	85.06 m ²
6	第 2 分団第 2 部消防車庫	下恵土 1134 番地 1	424.98 m ²	90.00 m ²
7	第 2 分団第 3 部消防車庫	川合 2353 番地 1	525.87 m ²	90.00 m ²
8	第 2 分団第 4 部消防車庫	土田 5664 番地 2	462.00 m ²	88.66 m ²
9	第 3 分団第 1 部消防車庫	矢戸 196 番地 1	786.00 m ²	90.00 m ²
10	第 3 分団第 2 部消防車庫	塩河 362 番地 1	252.64 m ²	93.60 m ²
11	第 3 分団第 3 部消防車庫	菅刈 33 番地 3	330.00 m ²	88.66 m ²
12	第 3 分団第 4 部消防車庫	東帷子 1967 番地 6	582.00 m ²	93.60 m ²
13	第 4 分団第 1 部消防車庫	久々利 896 番地 11	924.45 m ²	93.60 m ²

14	第4分団第2部消防車庫	羽崎 523 番地	193.00 m ²	57.21 m ²
15	第4分団第3部消防車庫	大森 687 番地 9	300.68 m ²	57.21 m ²
16	第4分団第4部消防車庫	兼山 635 番地	949.26 m ²	155.52 m ²
17	広見倉庫	広見 649 番地 4	113.85 m ²	46.06 m ²
18	下恵土倉庫	下恵土 1007 番地 2	192.86 m ²	46.90 m ²
19	土田倉庫	土田 2430 番地 2	122.37 m ²	41.35 m ²
20	塩河倉庫	塩河 344 番地 4	173.78 m ²	57.35 m ²

4 施設の現状と課題

(1) 現状

ア 施設概要（ソフト面）

施設の設置目的	消防団各部の消防車保管、機材備品の保管、及び団員の活動拠点
施設の構成	車庫、倉庫、待機室
施設で行われる活動の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・消防自動車及び消防用機材備品の保管 ・災害発生時の待機、各種訓練実施に伴う待機、年末夜警、火災予防週間に伴う啓発活動等、各種活動

イ 施設概要（ハード面）

番号	施設名称	建築年度	構造	階層数	屋根	外壁	耐震状況
1	第1分団第1部消防車庫	H14	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
2	第1分団第2部消防車庫	H10	S	2	瓦・金属	吹付タイル	新耐震基準
3	第1分団第3部消防車庫	H20	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
4	第1分団第4部消防車庫	S57	R C	1	防水	吹付タイル	新耐震基準
5	第2分団第1部消防車庫	S62	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
6	第2分団第2部消防車庫	H14	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
7	第2分団第3部消防車庫	H18	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
8	第2分団第4部消防車庫	H1	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
9	第3分団第1部消防車庫	H16	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
10	第3分団第2部消防車庫	H23	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
11	第3分団第3部消防車庫	H1	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
12	第3分団第4部消防車庫	H29	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
13	第4分団第1部消防車庫	H27	S	2	金属	吹付タイル	新耐震基準
14	第4分団第2部消防車庫	S55	R C	1	防水	吹付タイル	
15	第4分団第3部消防車庫	S56	R C	1	防水	吹付タイル	新耐震基準

16	第4分団第4部消防車庫	H1	S	1	金属	吹付タイル	新耐震基準
17	広見倉庫	S54	RC	1	防水	吹付タイル	
18	下恵土倉庫	S53	RC	1	防水	吹付	
19	土田倉庫	S49	RC	1	防水	吹付	
20	塩河倉庫	S58	RC	1	防水	吹付タイル	新耐震基準

※11 第3分団第3部消防車庫については、H30大規模改修施工済み
 ※構造 S=鉄骨 RC=鉄筋コンクリート造

ウ 施設の利用状況

(7) 行事、訓練、災害出動による施設の利用実績

1～16 消防車庫毎の利用実績の目安

時期	行事名等	利用人員	備考
4月上旬	入退団式	20名	
4月中旬	規律訓練	20名	
4月中旬～5月末	操法訓練	15名×訓練実施日数	
5月末	操法大会	20名	
6月上旬	水防訓練	20名	
6月中旬～8月上旬	県操法大会訓練	15名×訓練実施日数	出場の場合
9月上旬	防災訓練	20名	
11月上旬	秋の火災予防週間	2名×7日	
11月下旬	規律訓練	20名	
12月26日～30日	年末夜警	10名×5日	
1月上旬	安全祈願、出初式準備	5名	
1月上旬	出初式	20名	
3月上旬	春の火災予防週間	2名×7日	
定期	消防車・水利点検	4名/回	2回/月 程度
不定期	火災出動	10名×出動回数	
不定期	水災害出動	10名×出動回数	
その他	地域行事等	必要人員	

(4) 倉庫の利用状況

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 17 広見倉庫 | 防災安全課にて、災害用備蓄品、消防用備品、消防用機材等を保管 |
| 18 下恵土倉庫 | 防災安全課にて、災害用備蓄品、消防用備品、消防用機材等を保管 |
| 19 土田倉庫 | 防災安全課にて、消防用機材等を保管 |
| 20 塩河倉庫 | 使用貸借契約により塩河自治会へ貸与（2022年5月17日まで） |

エ その他

(7) 施設の防災面の視点

消火活動の他、風水害、地震、土砂災害時における人命救助や避難誘導等、その他非災害時にも重要な役割を担う消防団の拠点となっています。

(2) 課題

○施設目的と実態

施設利用目的は、地域防災の要となる消防団の活動拠点であり、稼働率等の数値によって優先度を判定する施設ではありません。

現在、昭和 50 年代に建築した R C 造の消防車庫が 3 施設あり、新築当時と比較して消防車が大型化しており、団員定数も増加している中、車庫・詰所共に狭小となり一部の活動に支障を生じている状態です。

また、昭和 60 年代以降に建て替えを実施した消防車庫についても経年劣化による損傷が出ており、計画的な改修が必要です。

5 今後の方向性

○狭小な車庫の建て替え

○建て替え実施済消防車庫（第 4 分団第 4 部消防車庫を含む）の改修により、長寿命化を図る

6 施設の劣化状況

建物内部、屋根、外壁について部位ごとの目視による確認を基本とし、部分的に触手及び打診調査を実施しました。

○建物の劣化状況の評価の定義

劣化度	評価基準
A	概ね良好。特に修繕上問題となる事項なし。
B	部分的な劣化が見られる。経過観察または修繕対応。
C	広範囲に劣化が見られる。5 年以内に改修が必要。
D	劣化の程度が大きく、早急な対応が必要。
—	点検対象外。

○施設別項目別劣化状況

名称	劣化状況					
	屋根	外壁	内部	電気	給排水	空調
第1分団第1部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第1分団第2部消防車庫	B	B	B	B	B	B
第1分団第3部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第1分団第4部消防車庫	D	C	C	B	B	B
第2分団第1部消防車庫	D	B	B	B	B	B
第2分団第2部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第2分団第3部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第2分団第4部消防車庫	D	C	B	B	B	B
第3分団第1部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第3分団第2部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第3分団第3部消防車庫	A	A	B	B	B	B
第3分団第4部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第4分団第1部消防車庫	A	A	A	A	A	A
第4分団第2部消防車庫	C	C	C	B	B	B
第4分団第3部消防車庫	B	C	C	B	B	B
第4分団第4部消防車庫	B	A	B	B	B	B
広見倉庫	—	—	—	—	—	—
下恵土倉庫	—	—	—	—	—	—
土田倉庫	—	—	—	—	—	—
塩河倉庫	—	—	—	—	—	—

7 施設の日常点検

施設利用者の安全確保、施設の予防保全による長寿命化のため、施設の日常点検（自主点検、法令点検、定期点検）を行います。点検において確認された不具合等については、履歴として記録し、以後に、修繕、改修を行う際や個別施設計画を見直す際に、考慮します。

8 対策の優先順位の考え方

狭小な消防車庫3箇所のうち、第1分団第4部消防車庫（姫治）は新築する土地の選定まで終了しており、優先して実施する予定です。

また、第4分団第2部消防車庫（平牧北部）、第4分団第3部消防車庫（平牧南部・桜ヶ丘ハイツ）については、用地の選定・優先順位等を含め今後検討・判断をします。

9 対策内容と実施時期

対象施設における今後の対策時期、内容、費用を算出しました。

費用は本計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や今後の災害発生等の状況、社会情勢の変化により、変動が生じる場合があります。

対策時期についても、本市の財政状況等により、変動が生じる場合があります。

消防車庫(全体)

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	—	—	—	1-4 新築 37,782	2-4 屋 外 内 電 給 空 5,968	—	—	1-2 屋 外 内 電 給 空 5,968	4-4 屋 外 内 電 給 空 9,754	—	
費用	0	0	0	37,782 2,328 2,507 217 503 193 220	2,328 2,507 217 503 193 220	0	0	2,328 2,507 217 503 193 220	6,737 1,502 728 374 193 220	0	
年度計	0	0	0	43,750	5,968	0	0	5,968	9,754	0	65,440

※屋…屋根 外…外壁 内…内部 電…電気 給…給排水 空…空調

うち第1分団第1部消防車庫

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第1分団第2部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	屋 外 内 電 給 空	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	2,328 2,507 217 503 193 220	0	0	5,968
年度計	0	0	0	0	0	0	0	5,968	0	0	5,968

うち第1分団第3部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第1分団第4部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	新築	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	37,782	0	0	0	0	0	0	37,782
年度計	0	0	0	37,782	0	0	0	0	0	0	37,782

うち第2分団第1部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	屋 外 内 電 給 空	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	2,328 2,507 217 503 193 220	0	0	0	0	0	0	5,968
年度計	0	0	0	5,968	0	0	0	0	0	0	5,968

うち第2分団第2部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第2分団第3部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第2分団第4部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	屋 外 内 電 給 空	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	2,328 2,507 217 503 193 220	0	0	0	0	0	5,968
年度計	0	0	0	0	5,968	0	0	0	0	0	5,968

うち第3分団第1部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第3分団第2部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第3分団第3部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

うち第3分団第4部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第4分団第1部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第4分団第2部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第4分団第3部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

うち第4分団第4部消防車庫

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	-	-	-	-	-	-	-	-	屋 外 内 電 給 空	-	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	6,737 1,502 728 374 193 220	0	9,754
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	9,754	0	9,754